

富永神社祭礼奉納

とき 平成三年十月十一日(金)
午後四時始
ところ 富永神社 能楽殿

能組

狂言 福ノ神 福ノ神 天野裕子 参詣人一 水野佳菜子

地謡 松井良雄 畑中平 佐野元之助 中山伸一

独調 駒之段 和谷衡市 小鼓 今園アイ子

狂言 口真似 太郎冠者 松下和嗣 主原田佑哉 客林大策

半能 シテ今泉英三

葛城 ワキ 鈴木洋一 大鼓 鈴木正治 中嶋康夫 小鼓 森田收苗 大野誠

後見 鈴木崇史 竹内三郎 太田康弘 地謡 落野隆 土谷喜八郎 田中洋二 和谷衡市 竹内省吾 鈴木肇

仕舞 羽衣 鈴木肇 田中洋二 地謡 和谷衡市 太田康弘

狂言 附子 太郎 酒井宏 次郎 加藤賢一 主 小林常男

舞囃子 船弁慶 和谷衡市 大鼓 河村真之介 太鼓 水谷清 小鼓 永田六兵衛 苗 今泉英三

地謡 鈴木肇 土谷喜八郎 太田康弘

狂言首引

親鬼安形忠久

立衆(鬼)

為朝權田重紘
姫水谷至男

中山伸一

小林常男

松井平

佐野元之助

能

猩

シテ太田康弘

々

ワキ森田

收

大鼓清水利高太鼓今泉利夫
小鼓永田六兵衛苗今泉英三

後見中嶋康夫

地謡

竹内三郎 露野隆

水谷清 土谷喜八郎

田中洋二 和谷衡市

竹内省吾 鈴木肇

附祝言

(終了予定 九時頃)

主催

新城能楽社中
本町区

あらすじ

狂言 福ノ神ふく かみ

年の暮れに出雲の大社へ連れ立って参詣に出かけた二人が、福の神の前で豆をまき、囃していると、笑い声とともに福の神が姿を表します。自分から御酒を上げるよう催促するほどの気さくな福の神は、二人に楽しくなるよう教えを説き、目出度く舞って去って行きます。

狂言 口真似くち まね

知人から酒、肴を貰った主、程よい相手連れられて来る様にと太郎冠者に言い付けます。ところが連れて来たのは、評判の酒乱の者。一計を案じた主人は太郎冠者に、自分の言うようすうすうに真似をせよと言いつけます……

能 葛城かつらぎ

出羽国（山形県）の羽黒山から出た山伏が、大和国（奈良県）の葛城山へとやって来ます。折りしも降りしきる雪に悩んでいると、一人の里女が現れ、庵に案内し焚火をしてもてなします。そして雪の中で集めて束にした木々の細枝を標と呼ぶのだといい「標結ふ葛城山に降る雪の、間なく時なく思ほゆるかな」という古歌もあると教えてくれます。山伏は好意を謝し、やがて夜の勤行を始めようとすると、女はお勤めのついでに加持祈禱をして、自分の三熱の苦しみを助けて下さいと頼みます。山伏は不審に思つてその素性を尋ねると、自分は葛城の神であるが、昔役の行者に命ぜられた岩橋を架けなかつたため、不動明王の索に縛られ苦しんでいると云つて消え失せます。（中入）そこえ麓の男が上つて来たので葛城山の岩橋の事について尋ねます。その話を聞き、先程の女の事など思いあわせ奇特なことと思ひ、夜もすがら女神のために祈禱します。するとその修法にひかれて葛城の神が現れ、三熱の苦しみを免れた喜びを述べ、大和舞をまい晩近くなる

と岩戸の内へ姿をかくします。本日は中入から演能致します。

狂言 附子ぶす

主人は太郎冠者と次郎冠者に「附子」（ぶす）という猛毒の入った桶を預け「見るな」と云ひ残して外出しました。吹く風に当たつても氣を失つて倒れてしまふというぶすを怖い物見たさの二人が恐る恐る開けて見ると、何とぶすの正体は甘い砂糖でした

狂言 首引くび ひき

鎮西の八郎為朝が、播磨の因南野を通りかかると恐ろしい人喰い鬼が出て来ました。鬼は娘の姫鬼に人の喰い初めをさせようとしますが、為朝は何か勝負をして負けたら喰はれようと言います。剛勇無双の為朝と姫鬼の勝負は腕押し、足押し、首引と展開します。

能

猩猩しやうじやう

中国（唐の国）のかね金山の麓に、高風こうふうという大そう親孝行で評判の高い男がいました。彼はあの夜、楊子ようすの市いちに出て酒を売ると金持ちになるという不思議な夢を見ました。その夢のお告げの通りにすると次第に金持ちとなりました。

ところで市のたつごと高風の店へ来て酒を飲む者がいます。その男はいくら飲んで顔色が一向に変わらないので、ある日その名を尋ねると、海中に住む猩猩だとあかして帰って行きました。高風はある月の美しい晩、潯陽しんやうの江のほとりに出、酒壺を置き猩猩の出てくるのを待つことにします。やがて猩猩は薬の水とも菊の水とも呼ばれる銘酒の味をしたい、良き友と会う事を樂しみに波間から浮かび出て、高風と酒をくみかわします。折から空には月も星もくまなく輝き、岸辺の芦の葉は風に吹かれて笛の音をかなくて波の音は鼓の調べのようにひびきます。この天然の音楽にのって猩猩は舞い出します。そして高風の素直な心を賞し汲めども尽きぬ酒壺を与え消えてゆきます。

能装束・能面展示会

とき 十月十二日（土）午前十時より三時まで
ところ 新城文化会館 和室